

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成17年10月27日(2005.10.27)

【公開番号】特開2004-65406(P2004-65406A)

【公開日】平成16年3月4日(2004.3.4)

【年通号数】公開・登録公報2004-009

【出願番号】特願2002-226760(P2002-226760)

【国際特許分類第7版】

A 6 3 F 5/04

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 1 E

【手続補正書】

【提出日】平成17年8月2日(2005.8.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

表面に図柄が付された無端状ベルトを周回させるように構成するとともに、無端状ベルトの一部を視認できるように表示窓が設けられ、当該表示窓から前記図柄を視認できるようにした遊技機において、

前記各図柄を、ベルト周回方向にみて隣接する図柄同士で一つの完成図柄が構成されるように、部分図柄として表示したことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

表面に図柄が付された無端状ベルトを周回させるように構成するとともに、無端状ベルトの一部を視認できるように表示窓が設けられ、当該表示窓から前記図柄を視認できるようにした遊技機において、

前記表示窓からはベルト周回方向にみて隣接する2つの図柄が表示されるように前記表示窓の大きさを設定するとともに、

前記各図柄を、ベルト周回方向にみて隣接する図柄同士で一つの完成図柄が構成されるように、部分図柄として表示したことを特徴とする遊技機。

【請求項3】

前記ベルトには偶数個の図柄が付されており、当該図柄は全て完成図柄を構成するための部分図柄であることを特徴とする請求項1又は2記載の遊技機。

【請求項4】

ベルト停止時において表示窓に完成図柄が常に表示されるようにベルト制御を行うベルト制御手段を備えたことを特徴とする請求項1乃至3のいずれかに記載の遊技機。

【請求項5】

完成図柄を構成する部分図柄のうち一方が所定の当り図柄であり、他方が外れ図柄であることを特徴とする請求項1乃至4のいずれかに記載の遊技機。

【請求項6】

前記完成図柄は、同一内容を示す第1完成図柄と、第1完成図柄とは異なる内容であつて同一内容を示す第2完成図柄とからなり、第1完成図柄と第2完成図柄とがベルト周回方向に交互に配列されていることを特徴とする請求項1乃至5のいずれかに記載の遊技機。

【請求項7】

前記ベルトは複数設けられているとともに、それに対応して表示窓も複数設けられており、前記各表示窓から視認される完成図柄の組合せ（有効ラインが設定されている場合には有効ライン上の完成図柄の組合せ）が当り図柄の組合せとなつた場合に特定の遊技価値を付与するものであることを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれかに記載の遊技機。

**【請求項 8】**

始動操作手段の操作に起因して前記ベルトの回転を始動させて図柄を可変表示するとともに、停止操作手段の操作に起因して或いは該停止操作手段が操作されないまま所定時間経過したことに起因して前記ベルトの回転を停止させて図柄の可変表示を停止するように構成したことを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれかに記載の遊技機。